

令和4年度 第2回港区区政会議 福祉部会 議事録

1 日 時 令和4年10月25日（火）午後7時～

2 場 所 港区役所5階会議室

3 出席者（委 員）対面：池西委員、大平委員、加藤委員、

讃井委員、武内委員

WEB：牛島委員、山田委員

（関係者）WEB：港区地域支援調整チーム 藤原氏

（港区役所）対面：山口区長、若林副区長、石田保健福祉課長、

瓦保健・子育て支援担当課長、

朝間生活支援担当課長、西堂総合政策担当課長、

桐谷窓口サービス課長、白方保健福祉課長代理、

峯保健・子育て支援担当課長代理、片山保健副主幹

4 議 題 （1）令和4年度の施策・事業の中間評価について

（2）ひとり親世帯応援プロジェクト実施報告について

（3）各委員からの要望・意見等について

○白方保健福祉課長代理 皆さん、こんばんは。

本日はお忙しいところ、また夜分にもかかわらず港区区政会議福祉部会へご出席をいただきまして、ありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまより令和4年度第2回港区区政会議福祉部会を始めさせていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます港区役所保健福祉課長代理の白方でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

着座にて進めさせていただきます。失礼いたします。

区政会議につきましては、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例の規定によりまして、委員定数の2分の1以上の出席により成立するということになっております。この出席の規定につきましては、この場に出席されている会議の委員や関係者のほか、オンラインでの参加を含むものとなっております。

それでは、現在の出席状況をご報告させていただきます。委員の定数が10名のところ、ただいまオンラインでの参加も含めて6名のご出席をいただいております。委員の2分の1以上の出席がございますので、有効に成立していることをご報告させていただきます。

また、本会議は公開といたしまして、後日議事録を公開するために録音をさせていただきますので、ご発言の際は必ずマイクをご使用いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策といたしまして、皆様に検温やマスクの着用、手指消毒、咳エチケットをお願いしております。また、換気のために出入口、それから窓のほうも開放しております。マイクの受渡しにつきましては、事務局がその都度消毒を行いますので、ご協力をお願いいたします。会議中に少しでも体調が優れないようなことがございましたら、遠慮なくおっしゃっていただきますようお願いいたします。

続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。

まず、事前に送付をさせていただいた資料がございますのと、それから当日配付ということでお手元にお配りしておるものがございます。今お配りしている次第の次のところ、資料一覧表というのがございます。令和4年度第2回港区区政会議福祉部会資料一覧表というのを見ながら確認をさせていただきます。

まず、事前送付といたしまして、令和4年度港区運営方針に関する中間振り返りの各項目の目標達成・取組進捗状況ということで、A4の横の分、右肩に資料1と書いてございます。次、資料2といたしまして、こちらも事前送付ということで、ホチキス留めのもの

なのですが、令和4年度港区運営方針に関する中間振り返りの概要版というものがあります。情報提供資料といたしまして2点ございまして、催眠商法注意喚起ビラ、A4の縦の1枚物です。続きまして、区政会議で特にご意見を求めたい内容ということで、A4の横のもの1枚物になっております。事前送付させていただいた分、お持ちではない方はいらっしやらないでしょうか。

次に当日配付の確認をさせていただきます。

当日配付の分は、まず1枚目が令和4年度第2回港区区政会議福祉部会次第でございます。その次に、資料の一覧表ということで今読み上げている用紙になっております。続きまして、福祉部会委員名簿でございます。続きまして福祉部会配席図、本日の配席図を置かせていただいております。続きまして、カラーのA4の縦のものです。ひとり親世帯応援プロジェクト！の取組報告になっております。ちょっと資料のほう、すみません、プロジェクトの隣に「報」と入っておりますが、そこは削除していただければと思います。次に、ひとり親家庭支援パンフレット一式ということで、一番表にピンクのひとり親家庭等の方が利用できる制度・事業一覧ということで、何枚かその後ろに4種類のものがついております。クリップ留めのものです。

以上が本日配付させていただいておる資料でございます。不足しているものなどはございませんでしょうか。

本日は、議題といたしまして、令和4年度港区運営方針に関する中間振り返りについて、その他といたしまして、ひとり親世帯応援プロジェクト実施報告について、各委員からの要望・意見等についてというふうになっております。

全て説明は短めに、議論や質疑を長めにとってまいりたいと考えております。時間内で活発な意見交換が行われ、会議を効率よく進めることができますように、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、議題に入る前に、港区長、山口よりご挨拶を申し上げます。

○山口区長　こんばんは。

平素は市政、区政にご理解、ご協力を賜りましてありがとうございます。また、本日お仕事等でお疲れの中、また本当にお忙しい時間帯、夜に出てきていただいてこうしてお集まりいただきご意見をいただくこと、ありがたく思っております。ありがとうございます。

やっとなんてちょっとコロナの感染が落ち着いたかなと思いつつも、また警戒はずっと続けなければならないくて、インフルエンザとの同時の流行というのが非常に懸念されているとこ

ろですので、これからも引き続き感染対策をしながら、また、ワクチンを頑張って打ちましようということで私たちも一生懸命広報もしているのですが、ご検討いただけたらなというふうに思います。何分とにかくこうやって自分の仕事、家庭、そういった時間外に公募ボランティアとしてこういうような形で区政にご意見をいただいて、また地域活動していただいたり、その方の体力がなければ気持ちに余裕も出ませんので、皆さんがまず健康でいていただくことがすごく大事だというのは地域活動を見ながらも思っています。

また、港区に来ましてからたくさんの地域のいろんな活動に触れて、今回ひとり親のも見せていただいたのですが、何か自分以外の人を気にかけるということの下地があるまちだなというのが、私が来て半年以上たちましたけれども、印象です。特にコロナの中でも工夫して活動されたり、いろんな新しいことにもチャレンジしながらつながろうという気持ちのすごく強い地域だなということで、そういったところで区長ができるのはありがたいなというふうに思っていますし、またご意見いただきながら、よりセーフティーネットとして機能するまちをつくらなければいけないなと思っているところです。

本日の会議の位置づけを説明しておきます。

これは区政会議の福祉部会に当たります。あと2つ、防災・防犯部会、こども青少年部会ということで、3部会で構成されています。本日は福祉部会の今年度の2回目ということで、令和4年度の運営方針、区がやろうとしていることの取組進捗状況についてご報告しますので、ご意見いただけたらと思っています。また、ほかにも議題がありますので、そちらにもご意見いただけたらなと思っています。ここの部会でいただいたご意見を区政会議の全体会で一旦部会からの報告と、また部会では議論していないテーマについてご意見いただくという形で運営をしています。

港区の区政運営については、基本計画としては港区まちづくりビジョンという大きな計画があり、その個々の事業については、毎年度つくる運営方針に基づいてやっています。港区はすごいなと思ったのですが、各小学校単位の各地域が主体的に活動していただくための一つの方策として地域福祉活動計画を作成して、今年度あちこちで会議もしていただいて、進めていただいているところです。

やはり港区全部を行政だけで見切るということは本当にできないので、皆様方が気にかける、声をかける、そういった活動に支えられてセーフティーネットというのは機能すると思います。今日もいろんな情報提供もさせていただきますが、どこの区もそうですが伝わらない悩みなど、今日はその伝え方やこういう困っている人がいるみたいな地元で感じ

る肌感覚の情報なんかも入れていただけたらなと思っております。今日も活発な議論とご意見、どうぞよろしくお願いします。

○白方保健福祉課長代理 それでは、讃井議長、議事進行をよろしくお願いいたします。

○讃井議長 皆さん、こんばんは。議長として進行役を務めさせていただきます讃井です。

委員の皆様方には活発なご意見をいただければと思っております。会議を円滑に進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速議題に入ります。

令和4年度港区運営方針に関する中間振り返りについて、事務局から説明をお願いいたします。

○石田保健福祉課長 事務局、保健福祉課長の石田でございます。皆様方には業務終了後、遅い時間にお集まりいただきありがとうございます。

運営方針に関する中間振り返りの概要版をご覧ください。

まず、運営方針の経営課題を中心に主なものをご説明します。資料の7ページをお開きください。

経営課題3とあります。健やかにいきいきと暮らせるまちづくり、その戦略等、簡単に報告します。

まず、地域福祉の推進ということで項目を3つほど上げております。先ほど区長のほうからも話にありました地域福祉活動計画の推進支援というのが1番で、現在、各11地域で計画を策定中ということです。令和5年度から令和7年度の3か年のくくりで第3期の計画ということになりまして、今年度早々から実施しており、ワークショップとか各地域で活発にしている状況です。

2番目の高齢者等要援護者の見守り支援ということで、相談の延べ件数を年間で4,800件と想定しておりまして、3分の1ぐらい、4、5、6、7、8月で1,600件ということになっております。

続きまして、3つ目の認知症支援ネットワークの充実ということで、認知症連絡会の開催を4回設定しておりまして、上半期で予定どおり2回で、いずれの項目も取組は予定どおり進捗しているという状況です。

続きまして、次、8ページをお開きください。

戦略としましての地域包括ケアシステムの構築ということで、具体的な取組は1の在宅医療・介護連携の推進で、現状の主な取組実績は、新たにコアメンバー会議を設置し、コ

アメンバー会議は実務者会議ということで、会議を階層化することで効率的、効果的な検討体制を整備し、中身としましては、多職種連携や区民啓発等の取組を実施予定、こちらにつきましても取組予定どおり進捗している状況です。

次、9ページをお開きください。

通し番号の4、5、6、7とありますが、5の障がい者・高齢者虐待の防止の取組で、実績としまして、サービス利用調整会議は随時開催しております。広報紙掲載の取組についても予定どおり進捗しています。

次の10ページをお開きいただけますでしょうか。

こちらは戦略、健康寿命の延伸ということで、いわゆる健康寿命は平均寿命とは違うものであり、健康上の問題によって日常生活が制限されずに暮らせる期間で、その延伸、2025年の大阪万博の理念にも上がっている中身です。具体的な取組は2項目を上げており、1つ目は区民の健康増進。コロナ禍の中で皆さんお集まりいただいて密を避けてという中で、可能な限り人数を減らし、工夫しながらイベント等に取り組んでおるところでございます。

3つ目のところが健康フェスタについては今年度、集客型事業ということになるので中止ですが、健康月間の取組については、三師会さんとも相談しながら、いろんなパターンの取組を11月1日から始める予定にしております。

次に、2のがん検診・特定健康診査の受診率の向上ですが、がん検診は当然ながら早期発見が早期治療につながります。この項目につきましては、オール大阪、大阪市のすこやか大阪21の計画でも受診率の向上ということで上げられています。当然、個別検診とかあるのですが、保健福祉センターでの実施につきましては集団検診ということにしています。

こちらは受診率の補助ということなのですが、真ん中に充足率と書いております。要は定員が分母、母数としまして、受診者数、要するにたくさん来てもらいますというようなことを掲げて80%以上というふうにしています。しかし、今コロナでどうしても密を避けるために、もともと想定している枠というのを大体2分の1から3分の1に減らして実施しているものの、先ほど申し上げました充足率を上げるように取り組んでいます。また、南市岡さんなどの地区の協力とかもあって、こちらにつきましても取組予定どおり進捗しているという状況です。

次に瓦からまた報告します。

○瓦保健・子育て支援担当課長 日頃より地域におきまして子育て支援にご協力賜りまし

て、ありがとうございます。

本資料の8ページのほうをご覧ください。

8ページの戦略3-3、セーフティネットの充実の3番、発達障がい児の養育者支援でございます。こちら、具体の取組としましてピアカウンセリングとあり、ピアというのは仲間、同じ立場の人ということで、発達障がい児を育てている方が自身によるカウンセリングを年7回、1回2組を実施しております。座談会8月開催と書かせていただいておりますが、今年の8月に「こどもの支援と進路について考えよう」をテーマに、参加者の方に事前に様々なご質問をいただき、当日、パネラーにこのピアカウンセリングの講師であるNPO法人の代表と市岡中学校の西川校長先生においでいただき、会場で様々な発達障がい児を育てていただいている中で日頃抱えている悩みや質問をお受けして、具体にお答えしました。

その結果につきましてはホームページで掲載していますが、アンケート結果で、具体的な話が聞けてよかった、子どもに対しての接し方や対処法がよく分かった、進路について学校での支援について知ることができたというような好評をいただいております。

なお、当日25名程度のご参加で、当日出た質問やその回答について後からもご覧いただけますように、ホームページ上では座談会記録ということで掲載していますので、またご参考ください。

次に、9ページの4です。児童虐待未然防止・早期発見機能の強化・DV被害者の支援ですが、保育施設等に私どもの職員が巡回し、虐待リスクの判断や対応について指導、助言を行うことで虐待対応力の向上を図っていただくというものです。コロナ感染症拡大の影響もございまして保育所のほうに巡回するという予定が遅れており、今少し落ち着いている状況で、今から当初の予定どおり取組を行っていくところです。

また、真ん中に、精神的にしんどさを抱えていらっしゃるお母さん方への支援強化として、昨年度から臨床心理士を配置し、日常的には心理相談「こころの対話窓口」を行うとともに、発達障がいのお子さん方の相談が増えており、障がいへの理解が十分でないために、育てにくさから来る親御さんのしんどさを軽減する目的で、6月から9月の間、月1回、子育て応援セミナーとして、この心理士によります「発達障がいを理解する」というテーマでセミナーを実施しました。

9ページの一番下、7です。こどもの貧困対策の推進、具体的にはこどもサポートネット事業を実施しており、こちらはソーシャルスクールワーカーやこどもサポート推進員が

学校や区、地域と連携いたしまして、課題を抱えるご家庭等に必要な支援をつなぐ取組でして、小学生中学生を対象に、ケースを具体的に話し合う会議等をこの間、9月末までで37回重ねてきているところです。

次に、12ページのほうをご覧ください。

戦略4-2、「子育て世代」の応援で、取組としては、子育て支援機関との連携強化・子育て支援情報の充実、こちらは区内にある支援室や子ども・子育てプラザ、支援センター、はっぴいポケットみ・な・とさんとの定期的な会議や社会福祉協議会と子育てプラザが合同事務局をしている子育て支援連絡会の開催等を行っています。

なお、子ども・子育てプラザ、区役所のちょうど前の信号を渡ったところにあります。様々な子育ての支援の取組を行っている親子で楽しめる場所ですが、こちらは大阪市内の各区に1か所ずつあり、実際の事業のほうは委託事業として現在、こども青少年局が事業者を公募して実施しているところですが、現在、弁天町駅前では令和6年度に向けて開業の準備を進めている（仮称）区画整理記念の交流会館のほうにこのプラザの機能が移ることになっており、今、来年度から新しい事業者につきまして区のほうが公募中であることをご報告します。

あと1点、広報紙ですが、来月11月は児童虐待防止推進月間になっており、毎月1日発行の広報みなとで、子育て支援の特集号として増ページで虐待防止のことや区役所に様々な専門スタッフがいるのでご相談ください、里親を増やしていきましょうという取組の記事となっているので、またご覧ください。

以上、取組のほうは目標達成見込みで、予定どおり進捗しています。

○讃井議長 ありがとうございます。

それでは、今の説明、事前配付資料を確認していただいた上でのご意見、ご質問を賜りたいと思います。何かご意見等々ございませんでしょうか。

加藤委員、お願いします。

○加藤副議長 事前配付資料というところで、特に意見を求めたいという消費者被害の部分に関してよろしいですか。

○讃井議長 大丈夫です。

○加藤副議長 消費者被害のことについては、各地域で開催しているいきいきサロン等でも警察の方が来られて再三注意喚起をしていますが、なかなか被害が減っていかないというような現状であると思うのですが、こういったところにどうアプローチすれば被害が減

っていくのかというところで、警察で、被害に遭われた状況にある方がどのような方かという分析ができれば、そこに向けてアプローチできるのではないかと思います。例えば人が集まる場所に出てこられない方が被害に遭いやすいということもあるかもしれないですし、何かそういうのがあれば、地域にお願いをして、そういう機会をつくっていただけるかと思いますので、またよろしくお願ひいたします。

○讃井議長 ありがとうございます。

では次に、その他のひとり親世帯応援プロジェクト実施報告について、社会福祉協議会の加藤事務局長よりご報告をお願いします。

○加藤副議長 今回、資料のほうで配付させていただいておりますひとり親世帯応援プロジェクトということでご報告します。

この資料に基づきまして簡単にご説明、ご報告をさせていただきます。

今10月から各地域のほうなり街頭募金などで協力をお願いしている共同募金ですが、その中でも通常、共同募金というと、港区では各地域の活動や障がい者の施設のほうに募金をお渡しし、いろんな課外活動や福祉活動に活用しています。一方、テーマ型募金は、特定のテーマを定め、その課題解決に取り組むための募金を集めるということで、目的をはっきりとさせて募金を集めるものとなっており、例年1月から3月にかけて全国でも行われています。港区社協では昨年度、初めてテーマ型募金に取組ました。

今回社協のほうでコロナ禍の中でいろんな貸付けの事業などしていく中で、ひとり親世帯の方のお困り事など、ぜひひとり親家庭の方に対する何らかの支援ができればいいなということで募金を募りました。

募金額としましては31万6,000円で、各企業の方にダイレクトメールを送付し、地区の民児協にもご協力いただきました。併せて、ひとり親の方への支援をしてほしいということで全国の共同募金会からの配分もいただきまして、31万6,000円というのが集まりました。

お米が喜ばれるという話を聞き、おこめ券の配付の取組を行いました。

ただ、おこめ券をお渡しするというだけでなく、コロナ禍の中であつたり、孤立しがちなひとり親家庭の方には何らかのつながりを感じていただいたり、安心というかちょっとほっとできる時間を過ごしていただきたいということで考えました。そこで、区役所や様々なところに相談した結果、いろいろなご協力をいただいて広がりを見せた取組というふうになりました。また、この機会を通じて、日頃なかなか相談につながりにくい方

に相談につながるきっかけにもなっていたらということで企画しました。

今年の9月7日に区民センターでお渡しする日にちを設け、対象者は港区在住のひとり親医療証をお持ちの方で、保健福祉センターからの通知文書にこのチラシを封入していただいたので、対象者には手元に行き渡ったと思います。

おこめ券としましては、大体これを均等に割り振りますと5キロ相当分ぐらいのお米券105名分というのを購入することができました。当日、たくさん来られるのか、そうでもないのかというのが全く読めなかったのですが、朝から少し時間帯によっては行列の状況になり、予定していた19時まで待たずに、17時半ぐらいで105名お渡ししました。その後も何名かお渡しできず、大体115名ほどのご参加でした。

裏面は当日プログラムを記載しています。右の下の受付から通過し、おこめ券の配付ブースがあります。様々なところから物品の提供などをいただき、袋に詰めてお渡しするということことができました。また、グッドネーバーズ・ジャパンという団体が、区内で2か所、磯路地域と弁天地域で拠点を設けて、ひとり親世帯の方に向けた食料支援の取組にあわせて地域の方の協力で「ぐっどBOX」という取組が始まっています。そちらから物品のご提供をいただきました。また、企業から、お母さんにもちょっとほっこりしていただきたいということでクリームを頂いたり、あとは大阪信用金庫からはフードドライブのご寄附なども頂き、様々な物品の提供することが出来ました。相談の窓口も設け、子育てをしながら求人とか仕事を探している方向けのハローワークの関連施設・マザーズハローワークからもお越しいいただき、77名の方にご案内ができました。あとは、ひとり親家庭サポーターという、区役所の中にあるひとり親の方に向けた様々な就労支援や自立に向けた相談窓口の方もお越しいいただき、6名の方が相談の予約につながりました。

そして、カフェスペースでは、ボランティア・市民活動センターのボランティアや主任児童委員・桜栄会のご協力をいただき、お茶を飲みながらアンケートを書いていただくブースを設けました。

また、サンキューメッセージということで、寄附を頂いた皆様へのメッセージをお願いし、メッセージカードを貼り付けるという取組を行いました。ひとり親の世帯にとって心強いサポートになった、気持ちが温くなりましたというメッセージをいただきました。そして相談窓口で相談された方は、学歴を諦めていたけれどもチャレンジしたくなりました、港区で初めての取組だったので、こんなプロジェクトは初めてだったというような様々なご意見をいただきました。

この企画というのは、本当に様々な団体の方のご協力なしにはできなかったことで、このことを通じていろんな団体につながりを持たせていただいたということと、ひとり親の方にとって本当に支援を必要とされている方がたくさんいらっしゃるということに気づくことができる機会にもなったと思います。来年、令和5年の1月から3月にまた募金を行いますので、ぜひご協力をいただければと思います。今年お渡しできなかった方もいらっしゃるだったので、最低でも今年と同じぐらいの金額が集まればなというふうに思います。またどうぞよろしくお願いいたします。

もしよろしければ、当日ご協力いただいた武内さんから何か一言いただければと思います。

○武内委員 当日、私もお手伝いさせていただきました。ぐっどBOXで毎月、磯路と弁天交互でグッドごはんをやらせてもらっているのですが、皆さん、グッドごはんのことを知らない方もたくさんおられて、来られる方がもっと早く知っておったらよかったという方がすごく多かったです。9月7日にぐっどBOXのところで案内させていただき、9月末の磯路でのグッドごはんのときは、15から20名ぐらいぐっと増えて、港区以外の方もたくさん来られていました。港区の方でも気にかけている方も来られて、皆さんに喜んでいただき、すごくよかったと思います。

やはりこういう取組を行っているのを知らない方が本当に多く、グッドごはんは、企業が食料・生活用品、お米などたくさん寄附していただくと、すごくたくさんの量になり、すごく喜んで帰ってもらえます。当初は個人情報といって声もかけられない状態でしたが、回を重ねるごとにお茶を飲みながら話をしたり、夏休みのときは子どもさんが来られたり、会館の前でヨーヨーやスーパーボールすくいなどを用意して楽しんでもらったり、ほっとしてもらえる空間もつくれたので、徐々に人数も増え、形も変えながら、今後も皆さんにたくさん来てもらえたらいいなと思っています。

○加藤副議長 以上でございます。

○讃井議長 ありがとうございました。

この報告を受けたことに対してどなたかご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

○牛島委員 牛島ですが。

○讃井議長 はい、どうぞ。

○牛島委員 いいですか。

○讃井議長 お願いします。

○牛島委員 質問ですが、ひとり親家庭というのはお母さんのみが対象でしょうか。今、父子家庭、お父さんが養育している家庭も増えていると思うのですが、お父さんも来られることは可能な場所だったのでしょうか。

○加藤副議長 ひとり親医療証は、父子家庭の方でも対象の方はお持ちですし、当日、父子家庭の方がお越しになられていました。本当は土曜日などにできたらよかったのですが、平日になってしまい、なかなかお仕事を休んで来にくかった方もいらっしゃるかもしれないというふうに思いますが、一応対象にはなられていますし、先ほどお話があったぐっどごはんのほうも対象者は一緒ですので、父子家庭の方も対象になっている取組になります。

○牛島委員 そういう意味では、ぱっとこの内容を見たときに何かお母さん限定のようなイメージを受けてしまいました。そういう意味では、父子家庭にも何か魅力のあるようなブースや何かイベントごとのようなものもあってもいいのかなと、次のステップとして考えました。

○加藤副議長 ありがとうございます。本当にそういったところが必要だというふうに思います。

先日も窓口に父子家庭の方がご相談に来られました。父子家庭ならではの必要としている支援というのもあるかと思いますし、いろんな資源を考えたときに、父子家庭の方にどこまでサービスがあるのかというようなことも十分に知らなかった部分もありますので、相談窓口としても、そういった情報も知りながら取組をしていけたらと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

○讃井議長 すみません、ちょっと聞き逃したかもしれないのですが、港区在住のひとり親の医療証をお持ちの方というのが105名なのですか。

○加藤副議長 いえ。

○讃井議長 ではないですね。

○加藤副議長 何人になるのですかね。

○瓦保健・子育て支援担当課長 今回、財源的に集まった募金で105名の方にさせていただきました。

○讃井議長 ちなみに大体どれぐらい人数が。

○瓦保健・子育て支援担当課長 ひとり親約600名ぐらいです、今現在港区では。

○讃井議長 ありがとうございます。

○瓦保健・子育て支援担当課長 少し、補足させていただきます。

○讃井議長 よろしくをお願いします。

○瓦保健・子育て支援担当課長 今、加藤委員のほうから詳しくプロジェクトのご説明をいただき、区役所では、子育て支援担当がひとり親支援という、いわゆるひとり親というのは当然父子、母子両方対象なので、児童扶養手当のことなどは、ひとり親家庭サポーターという相談員が週に2回、区役所の3階の保健福祉課において、いろんなご相談を受けております。

今回、プロジェクトを通じて直接相談につながり、メッセージの中にも学歴を諦めていたけれどもチャレンジしたくなりましたというお声をいただいたことは大変うれしく思っております。さらに、ひとり親支援のサポーターもいますので、こんな相談をしていますということを広報に今努めているところです。

本日、4種類のパンフレットを用意しています。様々な支援がありますので、ぜひ皆様の周りで、長引くコロナ禍で、新聞報道等でも本当に頻繁にひとり親の方が困窮しているというニュースが流れています。ぜひ、ある制度は使っていただきたいと思いますので、また身近な方がご必要でしたら情報をお伝えいただければと思います。よろしくお願いいたします。

○讃井議長 ありがとうございます。

続いて、その他の各委員からの要望・意見等について事務局より説明をお願いします。

○石田保健福祉課長 各委員様からの要望・意見等についてですが、委員・関係者の皆様方がふだんの活動をされている中で疑問に感じておられることなど、本当にささいなことでも構いませんので何かご意見等を頂戴できればと思います。いただいたご意見等ございましたら今後の取組に生かしていきたいと考えております。

○讃井議長 どなたかご意見、ご感想とか何かございますか。

○讃井議長 先ほどひとり親の家庭にダイレクトに郵送されたというのはすごくすばらしいことだと思います。本当にいろんなところで広報するというので、すごく今の多様化している時代は余計難しいかなというふうに思っているのですが、我々歯科業界で今、後期高齢者の歯科健診というのをやっていますが、今まで、健診をやっていますよという広報紙とかで知らせるだけでなく、今回の後期高齢者の健診というのは後期高齢者の方にダイレクトで案内を送ってくれています。それを見たから歯医者に行って健診を受けないといけなというふうに思い、来院される方も多いです。何が一番効率的かというのは難しいで

すが、そういうふうには直接案内が来たら見ようかという人も多いと思いますので、そういうことも活用していただき、後期高齢者の健診でいろいろお話し、介護のことなども聞いていても、そろそろ行かないといけないとはわかっているが、どうしたらいいのか分からないという人がかなり多いです。

我々としたら区役所なり地域包括支援センターひまわりさんとか南部包括さんとかにまずちょっとのことでも相談されたいかがですかという案内はしています。もし、後期高齢者の案内を出すのであれば、そういうことも含めて何か相談窓口などの案内を出せたらいいかなと思いましたので、述べさせていただきました。

事務局では、本当に困っている人は何も発せられないなと感じているかもしれませんが、それに対して何かこうしようという取組とかあればお聞かせいただけたらと思います。

○山口区長 しかるべき人にしかるべき情報を届けるというのはすごい究極のテーマで、私も生野区長を5年間やって、最後の最後の区政会議で言われ、5年やっていろんなありとあらゆる手を使ってもそう言われたことに結構ショックを受けたのですよ。

個別に届けるというのがまず一つ、だからいろんな機会を捉えて封筒に印刷してみたりとか中に入れたり、コストの問題とか人の手間の問題もありますので、できることはいろいろ調整してやって、高齢の方はやはり郵送または、回覧がどこまで機能するのかと。一定、回覧板は口コミみたいなのところがあるかなと思っています。

一方で、若いお母さんとかになると、LINEとかツイッターとかSNSが非常に強くて、他の区の話なのですが、西区のLINEもチェックしており、社協さんが子育てサロンの情報を発信しているLINEがあります。すごいなと思って、磯路で何月何日にサロンがありますと発信した後に、しばらくすると定員いっぱいになりましたと来るので、機能しているというのはすごく感じています。そういったところも私たちもまた模索もしていけないといけないというふうに思っています。

あと、動画だと伝わるケースと動画はめんどうだというケースといろいろあり、多様化しているだけに、本当にしっかりやらないといけないというふうに思っているところなので、今いただいたご意見とか、こういう世代の人たちとかこういう課題を抱える人たちにはこのツールが効果的だという情報共有はしっかりしていけないと思っています。

あと、もう一つ大事だと思っているのが、課題を話題にということを私はよく考えます。例えばひとり親の問題とか、さっき父子家庭の話をしていただきましたが、ああいうのは

話題になって初めて、あっ、そういえばというふうになると思うんです。残念ながら、福祉の児童虐待とかは大きい事件があるとそのときだけ何か問題や問題やとなって、みんなが知って気かけ出すのですが、割に一過性というか、それでまた繰り返されるのは残念だと思っているので、やはり常に課題を話題にしていくということ、そういう事件とか悲しいことじゃなくて、日頃からちょっと人と話すときに何かテーマにしていたり、区役所から働きかけたりしていかないといけません。そのために講演会などいろいろやっているのですが、本当にしんどい人には行かなかったりもするので、またいろいろお知恵もいただきながら、本当に届く、届けるという今日のテーマ全般だと思いますが、しっかりやっていきたいと思います。

○讃井議長 地域から来られている委員の方々も、どういうふうな感じだったら有効かなというような提案があれば一言ずつでもお願いできないでしょうか。

○池西委員 情報を提供するというのは、何かの会合のときにいろいろ個人的に、例えば今日も百歳体操がありましたが、そこへ来られた方とお話したり、いろいろ困っていたりした話などを聞いていたら、何か提供できることがあるかもしれませんし、そういう場にやっぱり皆さん足を運んでいただけたらなと一番思います。

○讃井議長 続けて、大平委員もお願いします。

○大平委員 私たちもいろんな地域で行事をしております。やっぱりその行事に参加していただける方はいいのですが、それに参加できない方もたくさんいらっしゃいます。その人たちにどういうふうにして周知をしたらいいかというのが一つの課題なのですよね。だから、回覧板を回すとか、ネットワーク委員さんが直接、うちの地域にはこういうちょっと気になる方がいらっしゃれば訪問をさせていただくとか、そういうふうな方法で今取り組んでおります。また、お伺いしても拒否される方、特に男性の方は訪問を断られる場合がありますので、その辺がちょっと難しいと思います。

○讃井議長 武内委員も何かありますか。

○武内委員 先ほどもお伝えしたのですが、グッドごはんのとき、最初はグッドごはんの方が食料だけ持って帰ってもらうという感じでしたが、回を重ねるごとにいろんな情報もお知らせすることもでき、先月は母と子の共励会の方も来られてチラシなどを配付されて、こんなことやっていますよという情報もお伝えすることができたので、毎月1回ですが、徐々にいろんな団体が参加していろんな情報を伝えることができています。

それで、子育てサロンに関しても2年半ぐらい全然できていなかったのですが、コロナ

に気をつけながら、最初は5組でしたが、今月は7組、来月も7組、クリスマス会的时候は10組にしようとか気をつけながらやっていきたいとします。

○讃井議長 ありがとうございます。牛島委員もお願いします。

○牛島委員 例えぼうちの田中食堂なんかでもたくさん定期的に子どもに配ってくださいと物を頂けるようになったので、食堂で配るようにしているのですが、そうなるとすごい人数が来られます。1袋にカレーにシーチキンに何か本当に山盛り、みんなお土産を持って帰ってもらうのですが、次のときはたくさん的人数になります。物はありがたいとお母さんもお父さんも思っておられるのは分かるのですが、何かもうちょっと違う使い方がないかなというのが地域での今、悩みの種です。頂くのはありがたいし、配ることも喜んでもらえているのは分かるのですが、それで際限なく人数が増えているというのも、本当に困っている人に行っているのかどうかというのがちょっと検証できていないことが悩みの種です。

○讃井議長 ありがとうございます。山田委員もお願いします。

○山田委員 仕事柄、受診される方で独り身の方に関してはなかなか、ほっておいてくれというような方もいらっしゃいます。訪問看護や地域からオレンジチームなどが関わっていただいているのですけれども、やっぱり特にさっき言われた男の独りの人というのは、もうええんやと。家族さんもなかなか連絡がつかないという、遠くにいてはって一緒に住むことができないような人というのは積極性がなくて、デイサービスとかそういうところにもやっぱり参加されないと。受診自身を促していても遅れがちになって、薬も飲まないという方が多いですね。そういうのをどうしたらいいのか考えて相談するのですが、本人がなかなか拒否されると介入がかなり難しい。無理やり連れていくわけにもいかないし、無理やり薬を飲ますわけにもいかないしというような、こちらもどうしたらいいものかなという意見をいただきたいです。独り暮らしというのは、なかなか周りで支えるというのは非常に難しいことなのかなというのを実感しています。

ちょっと積極的な意見は言えないですけれども、このぐらいでちょっと。

○讃井議長 ありがとうございます。そういうふうにはやはり皆さんの感じていることをそれぞれ言うことによって、いろいろ問題解決の糸口になるかもしれないなとしますし、この間も区民まつりに久しぶりに参加させてもらって、本当に区民の方々がみんなこういうイベントを待ちわびていたのかなというぐらい午前中は人が集まっていました。我々のところにも集まりましたが歯ブラシなどをもらいに来ただけというふうな感じの人はちょ

っと残念でした。人が集まってくれて、せっかく来てくれたので何かアピールしようとしたのですが、流れていった感じは多々ありました。ただ、イベントなどを通じて、何か少しでもアピールできたらなというふうに参加して思いました。

それでは、一応議事に関してはこれで終了したいと思います。

委員の皆様、ご協力のおかげでスムーズに進行できました。

○白方保健福祉課長代理 委員、関係者の皆様、円滑な会議の運営にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

委員の皆様方にはご案内を申し上げますとおり、11月2日水曜日でございます。午後7時より港区区政会議全体会議をこの場所で開催いたしますので、ご参加をいただきますようによろしくお願いいたします。

なお、本日の資料につきましては全体会議でも使用いたしますので、大変お手数をおかけしますが、ご持参をいただきますようによろしくお願い申し上げます。

それでは、これで港区区政会議福祉部会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。